

手立てシート【生活（登降園の時間）：年少】

引き出す工夫	目指す姿（望ましい行動）	認める・ほめる・励ます工夫	素敵な言葉掛け
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人と丁寧にあいさつをする。（手本を示す） あいさつをされたら、うれしいことを伝える。 	年少（かかわる力） あいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをしようとする姿を認める。（小さい声、仕草だけでも） 笑顔で受ける。 できないときの気持ちも受け止め、寄り添う。 	「先生の目を見てくれたね」 「あいさつができたね」 「あいさつをしてくれてうれしいよ」 「ドキドキするよね」
<ul style="list-style-type: none"> 一緒に取り組みながら、仕方を教える。 スモールステップで伝える。 ホワイトボードを活用して、身支度の流れを示す。 	年少（考える力） 身支度の仕方を知る	<ul style="list-style-type: none"> 「できた!」を一緒に喜び、共感する。 覚えたことをしようとする姿を保護者や他の先生にも伝える。 小さなことでも、仕方を覚えてする姿を認めたりほめたりする。 	「自分でできてうれしいね」 「すごいな。お兄ちゃん（お姉ちゃん）になったね」 「自分でできたね」 「かっこいいな」
<ul style="list-style-type: none"> じっくり話を聴く（傾聴）。（目線を合わせる・顔を見る・相づちを打つ・興味を示す・共感する） 今日の遊びについて一緒に振り返る。 クラス全体の場で話す場を設定し、友達をモデルにすることができるようにする。 	年少（表現する力） 好きな遊びについて話す	<ul style="list-style-type: none"> 話ができなくても、考えている姿を認める。 話そうとする姿を認める。 前回と比べて少しでも成長している姿を見つけてほめる。 話が聴けてうれしかったことを伝える。 	「いっぱい考えているんだね」 「分かるよ」 「お話が上手になったね」 「話してくれてありがとう」 「話が聴けてうれしかったよ」

手立てシート【生活（片付けの時間）：年少】

引き出す工夫	目指す姿（望ましい行動）	認める・ほめる・励ます工夫	素敵な言葉掛け
<ul style="list-style-type: none"> ・ 片付け後に楽しいことが待っている（おやつ、弁当等）ことを伝える。 ・ 一緒に片付け、見本を示す。 ・ 片付けを頑張っている子どもをほめる。（子どもの意欲を高める） 	年少（かかわる力） 先生や友達と 片付けようとする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊んでいた場所に戻ってきたことをほめる。 ・ 一緒に片付けてくれてうれしかったことを伝える。 	「ここで遊んでいたことを覚えていたんだね。」 「びかびかの部屋でおいしく食べようね」 「一緒に片付けてくれてうれしいよ」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一緒に取り組みながら、仕方を教える。 ・ スモールステップで伝える。 ・ 写真を見て、材料や用具、場所等を一緒に確認する。 	年少（考える力） 片付けの仕方を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使った物を元に戻そうとする姿を認める。 ・ 覚えたことに取り組もうとする姿を細かくほめる。 	「〇〇の場所知ってる？」 「いすを運んでいて、力持ちだね」 「〇〇の場所を覚えたんだね」
	年少（表現する力）		

手立てシート【遊び:年少】

引き出す工夫	目指す姿(望ましい行動)	認める・ほめる・励ます工夫	素敵な言葉掛け
<ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊ぶ。 安心できる友達とつなぐ。 先生や友達の名前や存在を意識できるようにする。 	年少(かかわる力) 先生や友達と遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 先生や友達に話し掛ける姿を認める。 先生や友達と遊ぼうとする姿を励ます。 先生や友達の名前を言う姿をほめる。 	「一緒に遊ぼうって言えたね」 「先生と一緒に声を掛けようか」 「名前を呼んだらお友達がうれしそうだったね」
<ul style="list-style-type: none"> いろいろな遊びにつながる用具や素材を準備しておく。 いろいろな遊びを一緒に見てまわる。 みんなで一緒に過ごす時間に遊びを紹介する。 興味のあるもの等について、保護者から得た情報を生かす。 	年少(考える力) したい遊びを見つけて遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 遊びに夢中になっている姿をほめる。 したい遊びを見つけて楽しんでいる姿を認める。 困難を乗り越えようとする姿を励ます。 	「すごいね。よく考えてつくったね」 「本当のお母さん(お店屋さん)みたいだね」 「〇〇ちゃんは、◇◇が好きなんだね」 「大丈夫だよ。一緒にやってみようか」
<ul style="list-style-type: none"> イメージしていることを尋ねて、周りの友達に伝える。 イメージに合う道具や材料を提案する。 	年少(表現する力) イメージを共有して遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> その子なりのイメージを受け入れる。 自分がイメージしていることを友達に伝える姿を認めたりほめたりする声掛けをする。 	「〇〇ちゃんは、◇◇なんだね」 「〇〇ちゃんは、◇◇が好きなんだね」 「素敵だね」 「かっこいいね」 「本物みたいだね」

手立てシート【生活（登降園の時間）：年中】

引き出す工夫	目指す姿（望ましい行動）	認める・ほめる・励ます工夫	素敵な言葉掛け
<ul style="list-style-type: none"> 一緒にあいさつをする。 友達とあいさつをする場面をつくる。 スキルカードを活用して意識できるようにする。 	<p>年中（かかわる力）</p> <p>自分から先生や友達に あいさつをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分からあいさつをする姿を認める。 友達とあいさつをする姿をほめる。 スキル活動のポイントを活用して自分からあいさつをする姿をほめる。 	<p>「あいさつをしてくれると、先生もうれしいよ」</p> <p>「相手を見てあいさつしているね」</p> <p>「聞こえる声であいさつできたね」</p> <p>「笑顔でできたね」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ホワイトボードを活用して、身支度の流れや一日の生活が見通せるようにする。 困ったときには先生や友達に伝えるように促す。 先生や年上の友達（バディ）と一緒に取り組み、経験を重ねることができるようになる。 	<p>年中（考える力）</p> <p>自分から身支度をする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって行動しようとする姿を認める。 自分でやってみようとする気持ちを認める。 頑張っている姿をほめる。 	<p>「すごいね。一人でやってみる？」</p> <p>「次に何をするのか考えていて、すごいね」</p> <p>「自分でしようとしているんだね。」</p> <p>「ここまで一人でできたの？頑張ったね」</p>
<ul style="list-style-type: none"> 安心して思ったことを言葉で伝えることができる関係や環境をつくる。 本人の気持ちを探りながら理解し、思いを言葉で伝えることができるように促したり、代弁したりする。 	<p>年中（表現する力）</p> <p>思ったことを言葉で伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもそれぞれの思いや気持ちを受け止める。 言葉で伝えようとする姿をほめる。 	<p>「〇〇な気持ちなんだね」</p> <p>「上手に言えたね」</p> <p>「自分でお話できたね」</p>

手立てシート【生活（片付けの時間）：年中】

引き出す工夫	目指す姿（望ましい行動）	認める・ほめる・励ます工夫	素敵な言葉掛け
<ul style="list-style-type: none"> ・ 片付けの場所が分かりやすいように、写真や絵、文字を使って表示する。 ・ 使ったものを元の場所に戻すように促す。 	<p>年中（かかわる力・考える力）</p> <p>自分の使った物を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気持ちを切り替えて片付ける姿や葛藤している姿を認める。 ・ 元の場所に戻していることをほめる。 	<p>「よく見て、片付けることができたね」</p> <p>「遊びたい気持ちを切り替えることができたね」</p> <p>「元の場所に戻すことができて、すごいね」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで片付けると気持ちがよいことに気付くことができるように、教師も一緒に片付ける。 	<p>片付けるだけでなく、</p> <p>友達の手伝いもする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最後まで片付けようとする気持ちを認める。 ・ 友達の手伝いをしている姿をほめる。 	<p>「きれいになって気持ちがいいね」</p> <p>「友達の手伝いもしてくれてありがとう」</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して思ったことを言葉で伝えることができる関係や環境をつくる。 ・ 本人の気持ちを探りながら理解し、思いを言葉で伝えることができるように促したり、代弁したりする。 	<p>年中（表現する力）</p> <p>思ったことを言葉で伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもそれぞれの思いを受け止める。 ・ 言葉で伝えようとする姿をほめる。 	<p>「〇〇って言えたね」</p> <p>「やさしい伝え方だね」</p> <p>「『ありがとう』って言えて素敵だね」</p>

手立てシート【遊び:年中】

引き出す工夫	目指す姿(望ましい行動)	認める・ほめる・励ます工夫	素敵な言葉掛け
<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の名前を呼んで、一緒に遊ぶ。 遊びの様子について、保護者と情報を共有する。 子ども同士のかかわり方や遊び方を把握し、教師同士で情報を共有する。 	<p>年中(かかわる力)</p> <p>先生や友達の 名前を呼んで遊ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 名前を呼んで遊ぶ姿や友達とかかわって遊ぶ姿を認める。 先生や友達の名前を呼んで誘ったり、仲間に入ったりする姿をほめる。 	<p>「友達の名前が呼べたね」</p> <p>「友達に名前を呼ばれるとうれしいね」</p> <p>「名前を呼んで誘うのが上手だね」</p>
<ul style="list-style-type: none"> 材料や用具、場所等を準備したり、遊びを提案したりする。 みんなで一緒に過ごす時間に、写真や動画で遊びを紹介する。 	<p>年中(考える力)</p> <p>目的をもって遊ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発見や喜びに共感する。 みんなで一緒に過ごす時間に紹介する機会をつくり、認める。 目的をもって遊ぼうとする姿を捉え、認める。 自分達で遊びを考えたり、挑戦したりする姿をほめる。 	<p>「よく気付いたね」</p> <p>「おもしろそうだね」</p> <p>「すてきなものができたね。みんなに紹介したいな」</p> <p>「さすがだね」</p> <p>「楽しそうだね。先生もやってみていい？」</p> <p>「おもしろい遊びを考えたね」</p>
<ul style="list-style-type: none"> 子どもの思いを受け入れ、共感したり言葉を補ったりする。 安心して思ったことを言葉で伝えることができる関係や環境をつくる。 	<p>年中(表現する力)</p> <p>思ったことや考えたことを 伝えて遊ぶ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもそれぞれの思いを受け止める。 言葉で伝えようとする姿をほめる。 	<p>「なるほど、そのアイデアいいね」</p> <p>「伝えてみたら？」</p> <p>「友達に言葉で言えたね」</p>

手立てシート【生活（登降園の時間）：年長】

引き出す工夫	目指す姿（望ましい行動）	認める・ほめる・励ます工夫	素敵な言葉掛け
<ul style="list-style-type: none"> ・ 年下の友達（バディ）に意欲的にかかわろうとする姿をほめる。 ・ 年下の友達に意欲的にかかわる姿を紹介する。 ・ 具体的に世話の仕方を教えて、年下の友達を大切にしようとする気持ちを育む。 	年長（かかわる力） 年下の友達に やさしくかかわる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年下の友達に親しみを感している姿を認める。 ・ 年下の友達にやさしくかかわる姿を認めたり、ほめたりする。 	「バディさんの名前を覚えてね」 「やさしい声掛けだね」 「やさしくお世話ができたね」
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボードを活用して、一日の生活の流れを示す。 ・ 前日や視診時に、その日の予定を伝える。 	年長（考える力） 見通しをもって 身支度をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時計やホワイトボードを意識する姿を認める。 ・ 自分で見通しをもって行動できたことをほめる。 	「よく時計を見ていたね」 「ホワイトボードで確かめているね」 「先のことを考えて動いたね」 「次にすることがよくわかっていたね」
<ul style="list-style-type: none"> ・ モデルとなるように、やさしく話す。 ・ 自分の気持ちや考えを友達や先生に伝えることができる関係や環境をつくる。 ・ 友達の気持ちや考えに耳を傾け、違いを受け入れるように促す。 	年長（表現する力） 自分の気持ちや考えを 伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> ・ やさしく伝え合うことができたことをほめる。 ・ 自分の気持ちや考えを伝えることができたことを認める。 ・ 友達の気持ちや考えを聴こうとする姿をほめる。 ・ 自分の気持ちや考えを伝えることができた場面を「年長の時間」に紹介し、ほめる。 	「思ったことをやさしく話すことができたね」 「自分で伝えることができたね」 「友達の気持ちを聴いてくれてありがとう」 「最後まで聴くことができたね」 「自分の気持ちや考えを伝えることができて、すごいね」

手立てシート【生活（片付けの時間）：年長】

引き出す工夫	目指す姿（望ましい行動）	認める・ほめる・励ます工夫	素敵な言葉掛け
<ul style="list-style-type: none"> ・ 声を掛け合って片付けをすることができるよう、ホワイトボードや時計に片付けの時刻を示す。 ・ いろいろな場所で遊んでいる友達に声を掛けるように促す。 ・ 一緒に片付けながら、声の掛け方のモデルを示したり、声の掛け方を一緒に考えたりする。 	年長（かかわる力） 声を掛け合って 友達と協力して片付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片付けの時間に気付いて、友達に呼び掛けている姿を認める。 ・ いろいろな場所で遊んでいる友達に声を掛ける姿をほめる。 ・ 友達と協力して片付けをする様子をクラスの子ども達に紹介し称賛する。 	「片付けの時間だね、よく気付いたね。教えてくれてありがとう」 「〇〇で遊んでいる友達に声を掛けてくれて助かったよ。ありがとう」 「さすが、年長さんだね」 「一緒に片付けたくなるやさしい言葉だね」
<ul style="list-style-type: none"> ・ 片付けの時間の前に予告をする。 ・ 元の場所に帰すことができるように、用具入れに写真や絵、文字の表示をする。 ・ 次の遊びを始めるときは、片付けをしてから遊ぶように促す。 	年長（考える力） 見通しをもって片付ける	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片付けの時間に気付いたことを認め、進んで片付ける姿をほめる。 ・ 用具の場所を確認したり、工夫して整えようとしたりする姿を認める。 ・ 片付けをしてから次の遊びを始める姿をほめる。 	「片付けの時間に自分で気付いたね」 「何組さんに運ぶか確かめているね」 「次の遊びが決まったんだね。片付けをしてくれると次に遊ぶ友達が楽しく遊べるね」
<ul style="list-style-type: none"> ・ モデルとなるように、やさしく話す。 ・ 自分の気持ちや考えを友達や先生に伝えることができる関係や環境をつくる。 ・ 友達の気持ちや考えに耳を傾けるように促す。 	年長（表現する力） 友達や先生と 気持ちや考えを伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> ・ やさしく伝え合うことができたことをほめる。 ・ 自分の気持ちや考えを伝えることができたことを認める。 ・ 友達の気持ちや考えを聴こうとする姿をほめる。 	「思ったことをやさしく話すことができたね」 「自分で考えたことを友達に伝えているね。考えているね」 「友達と役割を決めて、片付けをしているね。すごいね」

手立てシート(遊び:年長)

引き出す工夫	目指す姿(望ましい行動)	認める・ほめる・励ます工夫	素敵な言葉掛け
<ul style="list-style-type: none"> 先生や友達と一緒に遊ぶことを提案する。 周りの友達のしている遊びと一緒に見に行く。 仲間に入るときの声の掛け方を一緒に考える。 	年長(かかわる力) 友達や先生に、 声を掛けて遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 友達に声を掛けることができた姿を認める。 友達や先生と一緒に遊ぶ楽しさに共感する。 友達ができた喜びに共感する。 	「『仲間に入れて』が言えたね」 「一緒に遊べて楽しいね」 「いろいろな友達と遊べてうれしいね」
<ul style="list-style-type: none"> 前日までの遊びを振り返り、すぐに遊び始めることができるように道具や材料を準備する。 一緒に必要な材料を考える。 友達に材料やつくり方を聞くように促す。 	年長(考える力) 必要なものを準備して 工夫して遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 一緒につくりながら、工夫しているところを認める。 工夫しているところをほめる。 思いがかなえられるように一緒に考え、励ます。 友達とアイデアを一緒に出し合って工夫する姿を認める。 	「材料をうまく使えているね」 「いいものを見つけたね」 「どんなものを使ってつくったか教えて」 「〇〇してみたらどうかな」 「いい考えだね」 「友達と一緒に考えるといいものができね」
<ul style="list-style-type: none"> 自分の気持ちや考えを友達に伝えることができるように、気持ちや考えを尋ね、伝え方を一緒に考える。 先生と一緒に気持ちや考えを伝えるように促す。 友達の気持ちや考えを聴いてみることを提案する。 	年長(表現する力) 友達や先生と 話し合って遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちや考えに共感する。 友達に気持ちや考えを伝えることができたことをほめる。 友達の気持ちや考えを聴くことができたことをほめる。 考えを出し合いながら遊びを進めている姿を認める。 	「分かるよ」 「気持ちや考えを伝えてくれてありがとう」 「聴いてよかったね」 「友達は違う気持ちや考えをもっているんだね。聴いてくれてありがとう」 「考えを出し合っていて、いいね」

